

第 6 学 年 音 楽 科 学 習 指 導 案

学校名 東京都内小学校
対 象 第6学年

1 題材名 「『ラバーズ コンチェルト』をアレンジして演奏しよう」

2 題材の目標

- (1)曲想と音色，リズム，速度や旋律などとの関わりを理解して，思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (2)楽器の音色，リズム，速度や旋律を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲全体を味わって聴いたり，どのように演奏するかについて思いや意図をもったりしている。
- (3)曲想と音色，リズム，速度や旋律の特徴に興味・関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組む。

3 学習指導要領との関連

[A表現] (2) 器楽：ア，イ(ア)(イ)，ウ(イ)

[B鑑賞] ア，イ

○児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

ア 音色，リズム，速度，旋律

イ 反復，変化

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 曲想と音色，リズム，速度や旋律との関わりについて理解している。</p> <p>② ミニキーボードの音色や響きなどに気を付けて，思いや意図に合った表現にするために必要な，電子楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p>	<p>① 楽器の音色，リズム，速度や旋律を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，多様なアレンジや楽器の組み合わせから生まれる曲や演奏のよさなどを見だし，曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② ミニキーボードの音色やリズムなどを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>曲想と音色，リズム，速度や旋律との関わりについて興味・関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 指導観

(1) 題材観

本題材のねらいは，音色，リズム，速度，旋律などと曲想との関わりを理解し，表現するために必要な演奏の技能を身に付け，どのように表現するかについて思いや意図をもって演奏することである。多様なアレンジや楽器の組み合わせから生まれる曲や演奏のよさなどを見だしながら曲全体を味わって聴いたり，楽器の音色やリズムの特徴を生かした演奏の仕方を考え，どのように表現するかについて思いや意図をもったりして学習を進める。

題材構成は，鑑賞—表現とすることで，様々なアレンジの曲を比較鑑賞し，得た知識を自分の表現に生かせるようにした。これにより，音楽を形づくっている要素と曲想との関わりについての学び

が他領域に広がり、実感を伴いながら学習が深まっていくと考えている。

多様な音色やアレンジに触れ、さまざまな音楽に出会うことは、潤いのある豊かな生活を営むことにつながると考えている。生涯音楽を楽しむ児童の姿を目指し、本題材を設定した。

(2) 児童観

鑑賞の学習では、体の動きを付けて旋律の動きを表したり、付箋を使って意見を交流したりする活動を積み重ねてきた。楽曲のよさや面白さを自分なりの言葉に表したり、ペアやグループで意見交換し、自分とは違う意見に気付いたりして、進んで聴こうとする態度や楽曲のよさを味わおうとする意欲が育ってきていると感じている。

ミニキーボードを使用した学習については、器楽合奏の他に『かえるのがっしょう』をハ長調やイ短調で弾き比べ、雰囲気の違いを感じ取った。さらにグループで旋律、繰り返しの支え（オスティナート）、低音の支え（ベース）、かざり（合いの手）を重ね、パートに合う音色を選んだり、リズム伴奏を加えたりしてアレンジすることにも取り組んだ。

「それぞれのグループの演奏が全く違った雰囲気をもって面白かった」「もっと難しい曲もアレンジしてみたい」「他のグループの演奏のアイデアも試してみたい」などの振り返りから、本題材では、『ラバース コンチェルト』の旋律をもとにアレンジする活動を通して、曲想と音色、リズムなどとの関わりをより深く理解し、自分の思いをもって表現することを目指している。

(3) 教材観

【鑑賞曲音源】

- ・サラ・ヴォーン「サラ ヴォーンベスト」(UCCM-3057)
- ・ファンタスティック・クルージング・オーケストラ「Jet Stream Fantastic Cruising “Sincerely”」(APCE-5075)
- ・桑田佳祐 「月」(VICL-35309)
- ・Profilers 「Party All-Nite」(DL)
- ・鈴木鎮一 「ヴァイオリン指導曲集」Vol.1 (GES-9366)
- ・グスタフ・レオンハルト「アンナ・マクダレーナ・バッハのための音楽帖」より (BVCD-38133)『ラバース コンチェルト』 デニーランデル・サンデーリンザー 作曲/石桁冬樹編曲
- ・クリスティアン ペツォルト (1677～1733) 作曲の『メヌエット』を、デニーランデル・サンデーリンザーがジャズ風にアレンジしたもの。1965年頃にアメリカでヒットして、日本でも知られるようになった。
- ・4パートに編曲されたこの教材は、各パートの楽器を自由に選択できるようになっている。主な旋律、飾りの旋律、響きを豊かにする和音、響きを支える低音といったパートの役割やバランスを考えて聴き合ったり、楽器の選択を試行錯誤しながら考えたりして合奏できるようになっている。(本題材では、主な旋律を中心に扱う。)
- ・前半の旋律を反復、変化させた構成になっているため、それに気付いて、全体の構成を理解することで、短時間で演奏することができる。

【使用楽器】

ミニキーボード カシオ S A-4 6 3 2 鍵 (一人一台使用)

メリット：電子鍵盤楽器の中で比較的価格が安く、軽量、電池駆動。

自分が表現したい音色やリズムパターンが選択できる。

様々な機能を生かすことで、思いや意図に合うアレンジの幅が広がり、思考・判断し、表現する一連の過程を大切にしたい学習の充実につながる。

～児童のアンケート結果より～

- ・1台でいろんな音やリズムが出せて楽しい。
- ・色々な機能があるので、知らない楽器の音も分かる。
- ・鍵盤ハーモニカでは出せない音が出せる。
- ・一人ひとりが自分にあった練習をすることができる。
- ・リズムに合わせてひいてみるることができる。
- ・小さくて扱いやすい。手軽に練習できる。

デメリット：鍵盤を軽く触ると音が出てしまうので注意が必要。音量が弱い。

～児童のアンケート結果より～

- ・ドレミソラシドのシールがないと困る。
- ・鍵盤数が少ない。
- ・少し触っただけで音が出ること。
- ・たくさん音が出るかわりに、メロディーに合う音が見つげにくい。
- ・たくさんボタンがあって、扱いにくい。
- ・何番が何の音かが把握できなかつたこと。

6 題材の指導計画（全5時間扱い）

	●ねらい ○学習内容 ・学習活動	◇教師の働きかけ ◆評価規準（評価方法）	評価の観点		
			知・技	思	態
<p><第1次> ●楽器の音色，旋律の反復や変化を聴き取り，曲や演奏のよさなどを見いだし，曲全体を味わって『ラバーズ コンチェルト』を聴く。</p>					
第1時	<p>○曲や演奏のよさを見いだし，多様な音色やアレンジの演奏を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サラ・ヴォーン『ラバーズ コンチェルト』を聴き，聴き取ったことや感じ取ったことを話し合う。 ・『メヌエット』（クリスティアン・ペッツォールト）を聴き，聴き取ったことや感じ取ったこと，サラ・ヴォーンの曲の感じと聴き比べたことなどを話し合う。 <p>・多様な音色やアレンジの演奏を聴き比べ，よさや面白さ，自分の好みの演奏を見付ける。</p> <p>・気付いたことや感じたこと，お気に入り度を伝え合う。</p> <p>・本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇歌詞を色分けして提示することで，旋律の反復や変化に着目できるようにする。</p> <p>◇手の動きや体の動きで拍子の違いを感じ取っている児童を取り上げ，拍子の違いに気が付くようにする。</p> <p>◇短調の響きに気付いた児童の意見を共有し，長調と短調の学習を想起できるようにする。</p> <p>◇多様な音色やアレンジの演奏を聴くことで，主な旋律に親しめるようにする。</p> <p>◇お気に入り度を伝え合うことにより，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや面白さを味わえるようにする。</p> <p>◆知①（発言内容・ワークシート） ◆思・判・表①（発言内容・ワークシート）</p>	知①	思・判・表①	
<p><第2次> ●自分たちの思いや意図に合ったアレンジをして『ラバーズ コンチェルト』を演奏する。</p>					
第2時	<p>○旋律の反復や変化に気付き，旋律①部分をミニキーボードで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律①の楽譜を見たり演奏を聴いたりして旋律の反復や変化に気付き，階名唱とリズム打ちをする。 ・鍵盤楽器の運指を確認する。 ・旋律①をミニキーボードで演奏する。 ・友達と教え合ったり，一緒に演奏したりする。 <p>・本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇旋律の反復や変化が視覚的にわかるように旋律①を一枚にまとめた楽譜を配布する。</p> <p>◇タブレット端末に演奏動画を入れておき，視覚的・聴覚的に自分のペースで練習が進められるようにする。</p> <p>◇ミニキーボードの音色を〈00 グランドピアノ〉にするよう伝える。</p> <p>◇3拍子や二短調で演奏したい児童のためにそれぞれの楽譜を用意しておく。</p> <p>◇旋律演奏の個別指導は，第2時から第5時に継続して行う。</p> <p>◆知・技②（行動観察・演奏聴取）</p>			

<p>第3時</p>	<p>○自分の思いや意図に合った音色やリズムを選んで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色やリズムを選ぶ時のルールを話し合う。 例) トーン89~99は、音の高低が無い打楽器のため、使用しない。など ・自分の思いや意図に合った音色やリズムを選んで演奏する。 ・何人かの演奏を聴き合う。 ・気が付いたことなどを意見交流する。 ・演奏を聴いたり意見交流したりしたことを生かし、自分の思いや意図に合った演奏を工夫する。 <p>・本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ミニキーボードの機能がわかるように〈トーン、パターンリスト〉を用意する。 ◇音色や演奏の仕方、速度など自分の思いを演奏している児童を取り上げ、アイデアやそのよさを共有する。 ◇重ねたいパートなどがある場合は、友達と一緒に演奏してもよいことを確認する。 <p>◆思・判・表② (行動観察・発言内容・振り返り)</p>			
<p>第4時 (本時)</p>	<p>○前時の発表や意見を生かして自分の思いや意図に合った演奏を仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のアレンジを思い出し、演奏する。 ・振り返りからわかったことや今日の課題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・(何人かが) 選んだ音色やリズムとその理由を伝えて発表し、聴き合う。 ・気が付いたことなどを意見交流する。 ・演奏を聴いたり意見交流したりしたことを生かし、自分の思いや意図に合った演奏を仕上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・(何人かが) 選んだ音色やリズムとその理由を伝えて発表し、聴き合う。 <p>・本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇リズムを使用しないなども工夫だと気が付いている児童の意見を共有し、価値付けする。 ◇自分の思いや意図に合った演奏にするためにどのような活動が必要かを聞き、取り入れる。 ◇演奏が難しい、思いや意図にあった演奏がうまくいかないなど困っている児童には、音色を決め、旋律の1, 2段を弾くなどの声かけをする。 ◇自分の思いや意図を伝えたり、困っていることなどを共有したりすることで、聴いている友達が具体的にアドバイスできるようにする。 <p>◆思・判・表② (行動観察・発言内容・振り返り)</p>		<p>思・判・表②</p>	
<p>第5時</p>	<p>○アレンジした演奏を聴き合い、互いの表現のよさや面白さを共有し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返り、演奏を仕上げる。 ・自分のアレンジの押しを述べて、発表する。 ・互いの表現のよさや面白さなどを意見交流する。 <p>・学習全体を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇推しを述べることで、音色、リズム、速度、旋律などと曲想との関わりを確認できるようにする。 ◇友達の演奏のよさを付箋に記入し、渡せるようにする。 <p>◆知・技② (発言内容・演奏聴取) ◆態① (行動観察, 発言内容, 振り返り)</p>	<p>知・技②</p>		<p>態</p>

7 本時（全5時間中の第4時）

(1) 本時の目標

- ・リズムや速度などを工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。

(2) 本時の展開

○学習内容 ・ 学習活動	◇教師の働きかけ ◆評価規準(評価方法)
<p>○前時の発表や意見を生かして自分の思いや意図に合った演奏を仕上げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">めあて『ラバーズ コンチェルト』をアレンジして演奏しよう。</div> <p>・自分のアレンジを思い出し、演奏する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>発問 どのような工夫をしたら、自分の表現したい『ラバーズ コンチェルト』の演奏になるかを考えよう。</p> </div> <p>・振り返りからわかったことや今日の課題をつかむ。</p> <p>・自分の思いや意図に合った演奏にするために音色、リズム、速度などを工夫し、仕上げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>活動の方法・個人で練習する ・友達と聴き合う ・アドバイスをしてもらう など</p> </div> <p>・(何人かが) 選んだ音色やリズムとその理由を伝えて発表し、聴き合う。</p> <p>・気が付いたことなどを意見交流する。</p> <p>・演奏を聴いたり意見交流したりしたことを生かし、自分の思いや意図に合った演奏を仕上げる。</p> <p>・(何人かが) 選んだ音色やリズムとその理由を伝えて発表し、聴き合う。</p> <p>・本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇リズムを使用しないなども工夫だと気が付いている児童の意見を共有し、価値付けする。</p> <p>◇自分の思いや意図に合った演奏するためにどのような活動が必要かを聞き、取り入れる。</p> <p>◇演奏が難しい、思いや意図にあった演奏がうまくいかないなど困っている児童には、音色を決め、旋律の1, 2段を弾くなどの声かけをする。</p> <p>◇自分の思いや意図を伝えたり、困っていることなどを共有したりすることで、聴いている友達が具体的にアドバイスできるようにする。</p> <p>◆思・判・表② (行動観察・発言内容・振り返り) ◆態① (行動観察・発言内容・振り返り)</p>

【本時の評価規準】思考・判断・表現②

ミニキーボードの音色やリズムの特徴などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

【Aと判断される児童の状況】

- ・音色やリズムなどを試行錯誤しながら工夫し、それらが生み出すよさや面白さとの関わりについて考え、どのように演奏するかについて根拠を明確にもっている。

【Cと判断されそうな状況への手立て】

- ・鑑賞した曲の雰囲気や響きを想起させ、どのように演奏したらよいか考えがもてるようにする。
- ・選んだ音色の理由を教師や友達と一緒に考える。